

平成21年10月8日

「アジアグリーンITフォーラム」の開催  
及びジョイントステートメントの発出について

(社) 電子情報技術産業協会

(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) は、(財) 国際情報化協力センター (CICC) 及び (財) アジア経営開発協力財団 (FAMD) と共催で、アジアグリーンITフォーラムを開催した (運営: グリーンIT推進協議会)。本会合は、アジア各国において広く「グリーンIT」の考え方や活動が普及するよう、初の試みとして、温暖化問題に対するITの重要性について情報交換し、認識の共有を図るものである。

活発な意見交換が行われ、今後の協力を盛り込んだジョイントステートメントを発出した。

1. 日程及び出席者

- ①日程: 平成21年10月6日 (火) 於 ホテル ザ・マンハッタン (幕張)
- ②出席者
  - 日本: 経済産業省、グリーンIT推進協議会
  - 中国: 中国工業情報化部、中国電子商会
  - 韓国: 情報通信産業振興院、韓国グリーンITビジネス協会
  - インド: 情報技術製造者協会
  - マレーシア: エネルギー・グリーン技術・水問題省、エネルギーセンター
  - シンガポール: 情報通信開発庁、シンガポールIT連盟
  - タイ: 工業省、電子・電気工業会
  - ベトナム: 情報通信省、ベトナム電子産業企業協会

2. ジョイントステートメントの概要 (別紙参照)

- ①地球環境対策におけるグリーンITの必要性
  - 各国はグリーンITによる地球温暖化対策を推進する。
- ②アジアにおけるグリーンIT活動の相互協力
  - 参加各国がアジア域内でセミナー、シンポジウム等で相互協力する。
- ③フォーラムの継続と各国間での情報共有
  - 参加国を拡大し、次回も日本で開催。適宜各国間で情報共有する。

## Asia Green IT Forum Joint Statement

Global warming is a critical issue requiring a global response.

In this context, with the full-scale introduction of IT expected to greatly increase the number of IT devices in use, saving energy in IT devices themselves has become vital. At the same time, IT and electronics technologies open the way for the sophisticated control and management needed to boost efficiency in production, logistics and administration, and this in turn is expected to generate greater productivity in all economic and social activities, contributing substantially to reducing environmental impact.

Particularly in Asia, which is already a world production and service center, and which is expected to sustain strong growth into the future, green IT could have a substantial effect.

In light of this situation, representatives from East Asian and ASEAN governments and industrial groups (China, India, Japan, Korea, Malaysia, Singapore, Thailand, Vietnam) met in Makuhari, Chiba on 6 October 2009 to examine how green IT could be utilized to counter global warming. They exchanged views on initiatives in this regard, and discussed future directions. Participants affirmed that maximum efforts would be made to use green IT to resolve global warming as a key challenge for the human race, and that Asia as a whole would accelerate the promotion of green IT.

Specific items of common understanding were as follows.

1. Importance of green IT in combating global warming
  - \* Participating countries will utilize green IT to counter global warming.
2. Mutual cooperation in Asia for green IT activities
  - \* Participating countries will cooperate with each other in organizing seminars, symposia and other green IT activities in Asia.
3. Forum continuation and sharing information among countries
  - \* Further Forum meetings will be convened and participation expanded, with next year's meeting again held in Japan. Information will be shared among countries as appropriate.

## 第 1 回アジアグリーン IT フォーラム ジョイントステートメント（仮訳）

地球温暖化問題は、世界全体で取り組むべき重要課題である。

本格的な IT 化に伴い、IT 機器の数が大幅に増加するため、IT 機器自身の省エネは重要な課題となっている。

一方、IT・エレクトロニクス技術は高度な制御・管理による生産・流通・業務の効率化を通じて、あらゆる経済・社会活動の生産性向上を可能とし、環境負荷の低減に大きく寄与することが期待されている。

中でも、既に世界の生産・サービス拠点であり、今後とも力強い成長が見込まれるアジア地域において、グリーン IT の効用は大いに期待される場所である。

このような状況を鑑み、東アジア及びアセアン諸国（中国、インド、日本、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ、ベトナム）の政府関係者、業界団体は、グリーン IT による地球温暖化対策を主要議題とし、2009 年 10 月 6 日、千葉市幕張において、グリーン IT による地球温暖化対策の取り組みについて意見を交わし、今後の方向性について議論した。その結果、グリーン IT の活用によりわれわれ人類にとっての重要課題である地球温暖化問題の解決に向けて最大限の努力を払うことを確認するとともに、アジア全体としてグリーン IT の推進を加速していくことを確認した。

以下が具体的な共通理解の事項である。

1. 地球温暖化対策におけるグリーン IT の必要性
  - ・参加各国が自国でグリーン IT による地球温暖化対策を推進する。
2. アジアにおけるグリーン IT 活動の相互協力
  - ・参加各国がアジア域内でのセミナー、シンポジウム等で相互に協力する。
3. フォーラムの継続と各国間での情報共有
  - ・本フォーラムを参加国を拡大して継続実施し、来年も日本で開催する。また、適宜、各国間で情報共有を行う。

以上